学校番号	3020

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎　つながる暮らし　共に創る未来　（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

講義だけではなく、実験・実習、グループワークなどの実践的・体験的な学習活動を通して、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解と技能を身につけます。

グループワークでは、課題に対して主体的に考えるだけでなく、周りの人と対話的に学び、多様な意見や価値観があることに気づき、思考力・判断力・表現力、協働の精神を身につけていきます。

家庭や地域、社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、習得した基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力、協働の精神を活用した、課題解決力を養います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な基礎的・基本的な知識の理解を図るとともに、それらに係る技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善する課題解決力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって自立した生活者として、生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や保育、環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	生涯を通して、家庭や地域および社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて。課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生活設計	1 自分の将来を見通そう 1 人の一生と生涯発達 2 ライフイベントと人の生き方 3 目標と意思決定	a: 各ライフステージの特徴と課題を理解する。 b: 私たちは生涯発達し続ける存在であることを理解する。 c: これから起こる人生のライフイベントを想定し，目標をたて，そのための意思決定について考える	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	青年期と家族	1 これからの人生に向かって 1 あなた自身を知る 2 5つの自立 2 家族･家庭とは何だろう？ 1 家族を築くこと 2 法律と家族･家庭 3 これからの家庭生活と社会 1 現在の家族を取り巻く状況 2 男女共同参画社会 3 これからの仕事と家庭生活	a: 青年期とはどのような時期なのかを知り，青年期に必要な自立について考える。 家庭生活を支える基本的な法律について理解する。 家庭生活を支える職業労働と家事労働の特徴を理解する。 b: 日本の雇用環境を考え，将来を見通した職業観を身につける。 自分や他者の性を尊重することの大切さを理解する。 c: 家族・家庭とは何かを，様々な観点から考えて自分なりの価値観を築く。 男女共同参画社会について知り，実現のためにできることについて自分なりに考える。18 歳で大人になるという自覚を持つ。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

	保育	1 子どもの成長を見つめる 1 子どもの成長と保育 2 発達と発育 3 人とのかかわりと心の発達 4 子どもと遊び 2 子どもの生活と保育 1 子どもの生活と親の役割 2 生活習慣と人とのかかわり 3 子どもの生活と健康・安全 3 これからの子育て環境 1 現在の日本の子育て事情 2 子育てを支えるしくみ 3 子どもの権利と福祉 4 これからの子育て	a：親の役割や愛着の大切さ，生命の尊さ,子どもを生み育てることの意義を学ぶ。 子どもの生活習慣・食事・健康と安全の重要性を理解する。 現代の子どもを取り巻く環境の問題について理解する。 社会全体で子育てを支援し,子育ての環境整備を行うことの重要性を理解する。 乳幼児期が人の一生において重要な時期であることを理解する。 b：自分たちがこれから子どもを育てる世代になることを実感する。 育児休業について,他国と比較して考えを深める。 c：子どもの心身の特徴や発達，遊びの意義を知り,子どもにとって良い環境について考えて自分なりの意見をもつ。 子どもとの適切なかかわり方について工夫する。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	高齢期	1 高齢期ってどういう時期？ 1 高齢者とは 2 高齢期の心身の変化 3 高齢期の健康 4 高齢期の生活 2 高齢化する日本を生きる 1 高齢化の現状 2 超高齢化社会の課題 3 安心できる暮しを支える	a：高齢期の心身の特徴を知り，高齢期に多い疾病について理解する。 介助について具体的な方法を理解する。 わが国の高齢化の特徴を知り,高齢者福祉の現状と課題について理解する。 高齢者を支える基本的な制度やしくみについて理解する。 b：高齢者の生活や，社会的な支援のあり方について考える。 高齢者を支える地域の役割について考える。 c： 人生の一時期として高齢期を捉え,自分の将来像としての高齢期について考える。 社会保障制度のしくみや他の国の現状を知り，自分なりに考えを深める。	定期考査	定期考査 ワークシート 体験実習 実習レポート	ワークシート 体験実習 実習レポート

	共生社会	1 共生社会とは何か 1 共生社会とは何か 2 リスクに備える 2 ノーマライゼーションとは 1 ノーマライゼーション	a：自助・互助・共助・公助について理解する， b：共生社会の重要性について理解する。 c：共生社会の実現のために，社会の一員として何ができるかを考え，工夫する。	定期考査	定期考査	定期考査
2学期	食生活	1「食べる」ということ 1 私たちの食事 2 ライフステージと食事 3 現代の食生活 2 私たちが食べているもの 1 食品に含まれる栄養素 2 栄養素の分類 3 栄養素と食品 3 安全に食べるために 1 食品の選択 2 食中毒と添加物 4 健康に食べるために 1 何をどれだけ食べるか 2 献立を立ててみよう！ 5 おいしく食べるために 1「おいしさとは」 6 ずっと食事を楽しむために 1 私たちの食生活と環境 2 食文化を継承しよう 3 これからの食生活	a：食事と健康とのかかわりや，人の一生における食事の役割について理解する。 日常用いられる食品に含まれる栄養素の種類や機能，おもな食品の特徴について理解する。 安全や健康の観点から，食品を適切に選択したり保存したりする方法について理解する。 私たちの体にとっての水の大切さを理解する。 料理の盛り付けや配膳，食事のマナーの基本を理解する。 b：食事摂取基準について理解し，各栄養素の必要量についてのイメージを身につける。 食品ロスなど具体的な問題点から，現代の食生活の問題や課題について考える。 c：年齢，性別，宗教など様々な背景や考え，相手に配慮した献立について考えることができる。 調理の基本的な技術を身につけ，安全や衛生面に配慮した調理ができるようになる。 日本の食文化を理解し，私たちが食生活の伝統を引き継ぎ，新しくを創造する主体であることを認識する。	定期考査 調理実習	定期考査 調理実習 実習レポート	調理実習 実習レポート

	衣生活	1 衣服のはたらき 1 衣服と私たち 2 衣服の機能 3 衣服と人の一生 4 衣服の安全上の問題 2 衣服ができるまで 1 衣服の材料 2 衣服のつくり 3 衣服の計画と管理 1 衣服を選ぶ 2 衣服の手入れ 3 衣服の保管 4 これからの衣生活 1 環境にやさしい衣生活 2 人にやさしい衣服 3 衣生活を支える世界 4 衣生活の未来	a：ライフステージの各場面に適した衣服,衣服計画の重要性について理解する。 衣服の素材（繊維，糸，布）の種類や特徴について理解する。 衣服素材の性能･着心地や構成について理解する。 衣服の手入れ,管理の必要性やその方法について，科学的に理解する。 基本的な衣服製作の技術を身につける。 b：衣服の表示について理解し，日常生活の中での活用について考える。 購入，活用，手入れ，再利用や廃棄まで考えて,衣服計画をたてることができる。 c：人間の生活と衣服のかかわり，衣服のおもな機能について理解し,生活に生かすことができる。 自分自身の衣生活の分析を通して,衣服や日常の衣生活に関心をもつことができるようになる。	定期考査 制作実習	定期考査 制作実習 ワークシート 実習レポート	制作実習 ワークシート 実習レポート
3学期	住生活	1「住まい」とは 1 私たちの住まい 2 安全な住まい 1 災害に備える 3 快適な住まい 1 つながって暮らす 2 快適に暮らす 4 住まいの課題と未来の暮らし 1 持続可能な住まいへ 2 これからの暮らし方を考える	a：人と住まいとのかかわりや，住まいの機能について理解する。 地震などの災害に備えたり，家庭内事故の要因を理解したりするなど,安全な住居についての基礎知識を身につける。 家族のライフステージや状況に合わせた，適切な住まいについて理解する。 住居の平面図を読み取ることができるようになる。 b：日本の住宅事情や課題を理解し，持続可能な住まい方の工夫について考える。 私たちの暮らしが地域とつながっていることを知り,まちづくりに参加する重要性を理解する。 c：安全で快適な住生活のための対策を具体的に考え，工夫する。	定期考査 平面図制作	定期考査 ワークシート 平面図制作 実習レポート	ワークシート 平面図制作 実習レポート

	経済計画	1 家計とお金の将来を考えよう 1 家計と社会のかかわり 2 将来の経済計画を考えよう	a: 家計のしくみについて理解し，家計は社会と密接にかかわっていることを知る。収入と支出のバランスについて理解する。 b: 金融商品の特徴を理解し，将来の財産管理について考える。 c: 生涯を見通した経済計画の重要性について理解する。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	消費生活	1 何をどうやって買う？ 1 私たちの消費生活 2 契約の重要性 3 消費者信用のしくみ 2 かしこい消費者になろう 1 消費者問題の現状と課題 2 消費者保護のしくみ 3 消費者の権利と責任	a: 生活情報を活用するために必要なリテラシーを身につける。 一人で契約する時の注意点や心構えについて理解する。 消費者トラブルと，消費者保護のしくみについて理解する。 消費者の権利と責任について理解する。 b: 18歳で「大人」になるという自覚をもち，大人と未成年の違いについて理解する。 様々な決済方法について知り，それぞれのメリット・デメリットや自分に合った利用方法について考える。 c: 消費行動への意思決定には様々な要因があることを理解し，自分の消費行動について客観的に考える。 消費者市民社会の実現に向けて，自立した消費者としてどのように行動したらよいかを考える。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	環境	1 環境問題を考える 1 暮らしをふり返る 2 さまざまな環境問題 3 社会の取り組み 2 私たちにできること 1 持続可能な消費 2 行動し、発信する	a: 環境問題について基本的な内容を理解する。 b: 持続可能な社会を実現するための社会の取り組みについて理解し。自分ができる取り組みについて考える。 c: 自分の消費行動が社会に与える影響について理解し，持続可能な社会のためにどう行動したらよいか考える。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	生活設計2	1 自分らしい生き方の実現 1 将来のために活用するもの 2 自分の生き方を設計する	a:生活資源とライフスキルについて理解する。 b:自分の将来を見つめる。 c:家庭基礎の学習を生かし，将来の生活に向かって目標を立て，自分らしい生活を設計することができる。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度